

## Asante Market Women 1982

Disappearing World グラダナテレビ制作

『アシャンテ族 市場の女たち』(1982)



Asante Market Women 1982 Disappearing World グラダナテレビ制作

案内役の人類学者の人類学者 シャーロテ・ボワイティ

### 「アシャンテ族 市場の女たち」

アシャンテ族：西アフリカ ガーナ共和国の中央部に居住するアカン系の民族 20万人  
海岸線から少し内陸に入る 生業 農業 漁業 女性による市場交易 王国

この母系社会では、兄弟と姉妹の関係が最重要である。女性は市場の運営で重要な力を持つ。



### 家庭領域

部分的には、兄弟と姉妹の親しさは、結婚後の居住形態と関係がある。人々は母系集団の近辺に棲み、しばしば夫と妻は一緒に住まない。母系集団の成員資格がたいへん重要であるので、夫も妻も結婚後も自分の母系親族と一緒に住み続ける。子供は母の母系集団の成員となる。



### 夫婦関係

夫は家事や経済的奉仕を要求し、妻は食物、衣服、そして必要ならば住宅への権利を持つ。

また彼女は性的満足や病気のときの看護などを期待できる。

結婚は一夫多妻が一般的であるが、妻は、もし夫がもう一人妻を迎えたいならば、その承認、非承認の権利を持っている。つまり、もう一人妻を迎えたい男性は、最初の妻が彼に対する性的権利を、もう一人の女性と共有することに同意するように、頼まなければならない。



### 政治形態

王国を形成し、アシャンテ王国には、王母（クイーン・マザー）が権威をもっていた。王母は王の実母、王の姉妹など王族の年長女性で、政治的、宗教的権威をもち、王国のなかで有力な地位につくものである。王母は王が退位した場合に、王位継承者を選出するという重要な役割を演ずる。王の背後に姉妹がひかえていて、その権力をチェックした。彼女の意見は王の意見以上に影響力を持った。これは、アフリカ社会で女性が確固たる地位を占めていたことの、ひとつの証拠であるとされる。また各部族 各村にもクイーン・マザーがいる。



### 公的領域

女性による市場交易：市場は女性の活動の舞台であった。アフリカ社会でも男女の性的分業が明確だが、市の商売は女性の領域であることが多かった。現在 西アフリカの市場をのぞいてみると、マーケット・マミーとよばれる女性の商人たちの姿が市をほとんど独占している。また、年長の女性が商人の長となって、市を取り仕切っている。

アシャンテの市場でも、トマト、ヤムイモ、バナナなど販売組合の長はクイーン・マザーと呼ばれ、権力と責任を持っている。